

たからさがしゲーム－目的地をさがそう

～地図帳にふれるきっかけの一つとして～

新学習指導要領では、3年生から地図帳の活用が始まることが予定されています。その準備として右ページのようなワークシートに取り組むのはいかがでしょうか。

この「たからさがしゲーム」は、地図のどこかにかくされている宝物を、手がかりに示されたルートをたどり、見つけ出すゲームです。宝物のかくし場所にたどり着くためには、「地図のやくそくごと」を理解していることが必要になります。

「地図のやくそくごと」とは、方位（4方位）、地図記号（凡例）、距離（スケール）などのことです。このワークシートは方位や地図記号を学ぶおもに3年生を対象にしていますが、4年生が取り組みれば、「地図のやくそくごと」の確認になります。楽しみながら、地図の基本を学ぶことをめざしています。

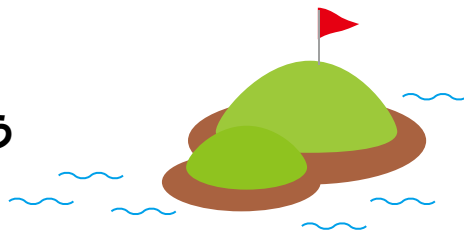
●どちらに進むか

学習指導要領では、4年生修了までに8方位を理解することが求められていますが、ここでは、わかりやすく4方位で進路を表しています。あらかじめ決められた出発地点から進むとき、「東・西・南・北」を用いず、「前・後・左・右」で表すこともできますが、その場合、絶えず向いている方向を確認する必要があります。ここでは4方位で指示しますので、上を北とし、右が東、左が西に、下が南となることを理解できているかが正しく進む鍵となります。

●目じるし

場所を確認するときには、近くにある建物や土地のようすを手がかりにします。

建物は、地図記号で表されます。この地図



にある記号は基本的なものですから、どれもおぼえておくことが重要です。もしまだおぼえていない児童には、凡例を見るようにうながしてください。また、土地のようすは凡例をみることでわかります。どのような地図でも凡例をみることは大切だということを理解させましょう。

●どれだけ進むか

地図にある「地図のものさし」を見ることで、「何m進む」ということが地図上のどのくらいの長さになるか、見当をつけることができます。

今回は、まちのなかにかくされた宝物をさがしていく設定ですが、ほかにも友達が書いたメモを見ながら、友達の家を訪ねる、家族に頼まれて知人の家に物を届けるなど、いろいろな設定が考えられます。また、手がかりの数などにより難易度をかえることもできます。

すこし難しくなりますが、このワークシートの地図を使い、目的地点を別の場所にして、あらたに児童に手がかりをつくらせることも可能です。

右ページの解答

イ 図書館

- * 右のページは、児童用です。複写してお使いください。モノクロでも見やすいように作成しています。
- * 指導者専用サイトでは、ほかの設定の目的地をさがすゲームを順次掲載していく予定です。ご利用ください。
- * このワークシートについてのご感想・ご要望は同封のアンケート、または指導者専用サイトのコメント欄におよせください。

◆たからものはどこにあるかな？◆

地図の、どこかにかくされているたからものを、次の手がかりをたよりにさがしてみよう。たからものはア～エのどこかの場所にあります。一つ選んで答えましょう。

●手がかり

- ①出発地点は、★のついている場所です。
- ②東に進み、神社の前に出ます。
- ③林ぞいに進み、小学校のある交差点に出ます。
- ④小学校のある交差点を北へ進み、病院のある交差点に出ます。
- ⑤病院のある交差点を西へ100m進みます。
- ⑥そこから北へ進むと広い道に出ます。道の北側にたからものがかくされている建物があります。地図のア～エから、その建物をえらんで答えましょう。またその建物はなにか、答えましょう。

⌘ 小・中学校	⊗ けいさつしょ	Y 消ぼうしょ	⊕ 病院
⊕ ゆうびん局	㍻ 神社	卍 寺院	📖 図書館
■ 工場	▨ 公園	■ 家の多いところ	■ 店の多いところ
▨ 田	▽ 畑	▨ 林	